

令和3年度第1回 京都府独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
近畿職業能力開発大学校京都校部会 開催概要

1 開催日時

令和3年7月8日(木) 11:00~12:30

2 開催場所

京都職業能力開発短期大学校2号館2階会議室（舞鶴市上安1922番地）

3 主な議題

- (1) 令和2年度の業務実施状況について
- (2) 令和3年度の業務計画及び業務進捗状況について

4 議事経過

資料に沿って、事務局から説明が行われた後、意見交換が行われました。各委員からの主な意見は以下の通りです。



- 入校案内パンフレットにQRコードを載せることは、活字離れが進み、ピンポイントで情報を得たい今どきの若者のニーズに合っており効果的だと感じる。
- コロナ禍という制約がある中での、積極的な高大連携事業（出前授業）の活動は評価できる。
- デジタルサポートシステム科の新設は、デジタル社会に対応する人材育成ということで非常に良い取組である。
- 令和2年度の入校生について、京都府の学生が多く、また府北部へ多く就職してくれてありがたい。
- 商工会議所の会報にも、貴校と連携を図るべく紹介記事を掲載してきた。今後も情報をいただき掲載していきたい。
- 対面とオンラインのバランスをうまくとり、貴校でしかできない人材育成を実施してもらいたい。
- コロナ禍の中であるが、思った以上に学生も入校しており嬉しく思う。学生の人口も減る中でここ数年定員割れしておらず、この状態を維持してもらいたい。
- 小学校への訪問も続けて、今の小学生が高校を卒業する頃に入校できる流れが作れたらと

思う。

- 舞鶴の製造業は人材不足に至っている。新設の社会人入試も推進していただき、有能な人材を地元に戻元していただきたい。
- 社会人向け推薦入試の導入に関しては、ハローワークとしても全面的に協力していきたい。
- リモートワークの普及により、都会に進学した学生が、都会にいる必要が無いと感じ、地元就職を考える相談も増えている。IT人材を育てていただき、地元企業での活躍につなげていきたい。
- 舞鶴市では、貴校に入校し市内の企業に就職すると返済不要になる「たから者育成奨学金」を運用しているが、舞鶴市内への就職は少なく、特に情報系企業への就職が少ないことから、貴校で学んだことを活かせる企業が少なかったと推察する。舞鶴でIT人材を育て、舞鶴で就職する流れを作るための4者連携協定に至った。舞鶴の子供達が舞鶴で学び、舞鶴で就職する、「地産地就」を実現させたい。舞鶴市としても入口・出口の部分で新しいPRの方法を一緒に考えていきたい。
- 4者連携協定を結び人材育成にあたるということで、学生が増え、その学生が地元で就職してくれることを期待している。

近畿職業能力開発大学校京都校部会出席委員名簿

(敬称略)

| 氏 名              | 所 属 及 び 役 職 名                     |
|------------------|-----------------------------------|
| 吉 田 周 史          | 京都府立福知山高等技術専門校長                   |
| 長 柄 俊 治          | 日本労働組合総連合会京都府連合会北部地域協議会 議長        |
| 西 山 隆 成          | 舞鶴商工会議所 専務理事                      |
| 山 口 靖 弘          | 京都府中小企業団体中央会 理事・事務局長              |
| 坂 根 貴 巳          | 丹後機械工業協同組合 事務局長                   |
| 荒 賀 誠            | 一般社団法人綾部工業研修所 理事長<br>日東精工株式会社 取締役 |
| 田 中 政 旭          | 舞鶴工業集積協議会長                        |
| 森 川 浩 行          | 京都府商工労働観光部人材育成課長                  |
| 野 田 昌 代          | 舞鶴公共職業安定所長                        |
| 小 谷 裕 司<br>《座 長》 | 舞鶴市産業振興部長                         |